

**保土ヶ谷区地域子育て支援拠点事業
令和2年度重点目標評価結果・次年度重点目標**

事業実施期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日(5年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ピアわらべ
	保土ヶ谷区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保土ヶ谷区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和2年度 重点目標の評価

令和2年度重点目標	保土ヶ谷区の親子が安心して過ごせるように支援者同士のネットワークを深め、多世代交流や妊娠期からの多様な親子へ取組を推進します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の方や外国籍の方など多様な方にむけての事業を通じて利用者同士のつながりを構築していきます。 ・区内の親子の居場所の状況を把握し、利用につながる情報発信の仕方を工夫していきます。 ・自治会等地域の方を交えた子育て支援連絡会を定期的に開催したり、保土ヶ谷区地域福祉計画に関わる会議に参加し地域全体で子育てしていく大切さを伝えていきます。 ・地域での子どもの預け預かりあいを広げていくため子育てサポートシステムの活用の仕方を検討していきます。
取組の成果	<ol style="list-style-type: none"> ①「プレパパ・プレママDAY」を拠点で開催し、参加者からは「体験したことで安心して出産を迎えることが出来る」「先輩パパの話聞いて先の見通しが持てた」などの声があり、その後の拠点利用にもつながりました。さらに、区との共催で「土曜日にプレパパ・プレママ 集まれー!」、区・国際交流ラウンジとの共催で「外国籍の親子向け講座」を開催し、講師による講話と当事者同士の交流の場を提供することが出来ました。 ②「ほどがやこどもニコニコフェスタ」をオンラインで開催し、子育てサロンや親と子のつどいの広場、拠点の様子を動画で配信し、居場所に足を運んだことがない方にも情報発信することが出来ました。 ③子育て支援連絡会全体会・エリア別連絡会では、「地域全体で子育て家庭を温かく見守ること」をテーマに、自治会など地域の方々を交えた連絡会を企画しました。今年度は子育て支援連絡会全体会は開催することが出来ませんでした。次年度開催に向けて準備を整えました。 ④子育てサポートシステムの利用に関するポイントや注意点をまとめた資料を作成し、区の窓口で活用してもらったことで、養育者がスムーズにシステムを利用できるようになりました。また小学校校長会や主任児童委員会でチラシを配布し事業について説明したことで、提供会員の登録につながりました。
取組の課題	<ol style="list-style-type: none"> ①子どもと接する機会や経験がないまま出産を迎え、産後に悩みを抱える方が増えています。多様な養育者に対して、産前から育児不安を軽減していく取組の継続が必要です。 ②核家族家庭が増えていること、さらに新型コロナウイルスの影響で外出する機会が減ったことで、地域とのつながりが希薄になっています。地域全体で子育てを応援していく取組が必要です。

令和3年度 重点目標	①妊娠期の方をはじめ多様な養育者が気軽に訪れ、関わり合えるひろばを目指します。 ②自治会や子育ての関係機関、者と連携し、保土ヶ谷区の親子を温かく見守る地域づくりを推進します。
取組内容	・妊娠期の方が気軽に拠点を利用し、利用者と交流できるよう「ブレバパ・ブレママDAY」を開催します。 ・母子保健コーディネーターと連携し、多様な方が拠点を利用することが出来るよう周知に取り組みます。 ・医療機関(助産院)とのつながりづくりを検討していきます。 ・子育て支援連絡会全体会・エリア別子育て支援連絡会において「地域で子育て家庭を見守る大切さ」をテーマに、地域の方々と交えて話し合う場を企画し実施していきます。 ・区社会福祉協議会など地域の関係機関と連携し、子育て応援講座を開催します。 ・自治会をはじめ地域の方々と拠点を招いて、ひろば利用者と交流する機会を作ります。